

---

# 戦闘員（ジョッカー）吉田真奈美の目標

eel

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ジョッカー  
戦闘員吉田真奈美の目標

### 【Nコード】

N9634V

### 【作者名】

eel

### 【あらすじ】

吉田真奈美はジョッカー戦闘員である。

彼女は、ある目標を掲げていた・・・それは・・・  
屋の店長になる事・・・

そんな彼女の退屈な一日を書いています。

(前書き)

のんびりしたやつを書きたかったので、書いてみました。

ジョッカー  
戦闘員吉田 真奈美。

彼女は、悪の組織『ピウスアモル』に所属している戦闘員だ。  
毎日、高校に通いながら必要なら戦闘員として、組織で戦っ  
た……

そんな彼女には、ある目標があった……

それは……『蕎麦屋の店長になる事』……だった。

「おはようございます」

そういつて、いつも通り蕎麦屋でバイトをする真奈美。彼女は6  
時〜10時の間、『都内某チェーン店蕎麦屋』で働いていた。

「おう！真奈美！来てたか」

そう言う暑苦しい親父、真奈美の保護者であり組織の幹部でもあ  
る『田中信吾45歳』であった。

「おじさん、暑苦しいからよって来ないで……」

「わはは！そう言うない！アイス買ってきたんよ！」実に暑苦し  
い顔でアイスを掲げてみせる。

……しばし真奈美は、おじさんの顔と、アイスを見比べ……

「近寄らないで……おじさんの方が暑い……」

そう言うて……シッシ……と追い払う。

「そうかい！若いつてのはすげえな！うあはは」

そう言いながら自分はアイスアイスクリームを貪る信吾。

「はあ……」

そう真奈美はため息をつくのだった……

「それじゃ、おつかれさまでーす」

そう言つて、蕎麦屋を出る。蕎麦屋から電車で10程の所に信吾が借りているアパートがあった。

「ただいまー」そう言つて帰ると・・・

「おかえり、ご飯できてるよ」そう言つて、グラマラスなお姉さんが迎えてくれた。

「ありがとう、耀子さん。いつもありがとう」

「いや・・・もののついでさ。」タバコを銜えながら、耀子さんは答えてくれた。

耀子さんも、組織の幹部で女怪人をしている。女性は、改造時にグラマーにするのが慣例らしいのだが、私は・・・なぜか育つていなかった・・・

「さ、さつさと食べちまいな。風呂も沸いてるよ」

「はい」そういつてリビングでご飯を食べる。

「おじさんは？」

「いつもの飲み屋だろ」

・・・ま、そうよね・・・いいなあ・・・

あの蕎麦屋は素晴らしい・・・そう思っていた、おじさんは、毎日酒を飲みに出かける。毎日だ。そして、出勤はいつも11時頃。退勤は、早い時で3時ときた。小さい頃から、そんなおじさんを見て私は『大人になつたらあそこで店長をやる!!』と、本気で考えていた。

おじさんは「いんじゃね？すきにしろ〜」と言っていたし

耀子さんは「いんじゃね？たばこ銭くれ」と言っていた。

私は「よし！頑張らずに生きよう！」そう思っていた。

小さい頃。事故で両親を失つた私・・・その事故で体が使い物にならなくなつた私は・・・

・・・事故相手『ピウスアモル』に連れ去られ生きる為に、改造手術を受ける事になつた。

当時、両親を失い毎日泣くばかりだったあたしに、おじさんと耀

子さんはものすごく尽くしてくれた。

事故を起こした怪人は、組織によって細切れにされ海に捨てられたと言う。

そんな経緯を経て、あたしは悪の組織の戦闘員をやっている。けど、あたしは非常要因とされ、比較的自由にさせてもらっていた。

高校にも毎日通い、バイトもおじさんの所で働かせてもらっていた。

耀子さんは、主に組織で金銭管理を担当しており、前線に出ることも少ない。なので耀子さんには、家の家事をしてもらっている。

おじさんは・・・よくわからない・・・蕎麦屋は適当、組織も適当・・・いいなあ・・・と切に思う。

朝、学校に行く。耀子さんに見送られ、通学路を歩く・・・

「おつはよ」友人のエミに会い、昨日のドラマで・・・話しながら登校する・・・

学校につくと、前の席のリョータに「おす」と挨拶。

「お、今日は普通に来たか。不良娘」

「うっさい。前向いてる」

あたしは、たまに組織のコトで学校をサボる事がある。なので、不良娘なんて言われていた。

「銀色の髪は、今日もお美しいですな」

「リョータうるさい。前向いて、おとなしくしてなさい」

「ハイハイ」

改造された所為で、あたしの髪は銀色になってしまっていた。日本人なのに、地毛が銀とかあんまりよくないと思う。けど、この色はあたしの象徴みたいになっていたので、いまさらだ。

キーンコーンカーンコーン

今日も一日が始まる・・・さ、寝よう！

(後書き)

あとがきです。

次回も一応予定しています。もんすたーにつきのほつもよろしく

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9634v/>

---

戦闘員（ジョッカー）吉田真奈美の目標

2011年10月9日13時44分発行